

【新規保険収載項目】***

HTLV-I 抗体

平成 29 年 11 月より保険適用

DO12 感染症免疫学的検査 52 区分：E2(新方法)

HTLV-I 抗体

【保険点数】432 点

【製品名（製造販売元）】イノリア HTLV(富士レピオ株式会社)

【主な対象】HTLV-I 確認検査の実施対象者(一次検査で HTLV-I 抗体陽性が確認された症例)

【主な測定目的】血清又は血漿中のヒト T 細胞白血病ウイルス I 特異抗体(抗 HTLV-I 抗体)およびヒト T 細胞白血病ウイルス II 特異抗体(抗 HTLV-II 抗体)の検出(ヒト T 細胞白血病ウイルス感染の診断補助)

【測定方法】ラインプロット法(LIA 法)

【検体】血清又は血漿

【有用性】遺伝子組換え抗原および合成ペプチド抗原を用いた LIA 法を採用することにより、簡便な操作で結果を得ることができる。既収載品(ウエスタンプロット法)と同等の検査性能を有する。

【説明】ヒト T 細胞白血病ウイルス I 型(HTLV-I)は、成人 T 細胞白血病(ATL: adult T-cell leukemia)の起因ウイルスである。HTLV-I は細胞内に取り込まれた後、ウイルス RNA が逆転写酵素により DNA に変換され、プロウイルス DNA の形で染色体に組み込まれることから、体内から排除されないと考えられている。また、HTLV-I の感染者ではウイルス抗原に対する抗体を保有していることから、臨床検査として抗 HTLV-I 抗体の検出が一般的に実施されており、ATL や HAM/TSP(HTLV-I associated myelopathy/ tropical spastic paraparesis)の診断補助、母子感染や供血者スクリーニング検査などに用いられている。一方、HTLV-I に類似のヒト T 細胞白血病ウイルス II 型(HTLV-II)は、HTLV-I と核酸レベルで 70%以上の相同性があり、ウイルス学的特性も極めて類似しているが、HAM/TSP には低頻度ながら関与していると考えられているものの、ATL のような悪性リンパ球増殖性疾患への関与は否定的である。

本試薬は、血清または血漿中の HTLV-I および HTLV-II に対する特異抗体を検出する試薬であり、また抗 HTLV-I 抗体と抗 HTLV-II 抗体の鑑別も可能とする新たな確認検査用試薬として開発された。検出原理として、遺伝子組換え抗原および合成ペプチド抗原を用いた LIA 法を採用し、特異性および感度に優れた試薬として、その有用性が評価されている。

<製品関連 URL>

なし

(文責：富士レピオ株式会社 監修：日本臨床検査医学会臨床検査点数委員会)

製品情報のホームページは仕様変更などによりリンク切れとなることもあります。

【臨床病理 65 巻 12 号 (2017) 掲載】